

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 日本教育公社

②事業者情報

名称：	共愛会職業センター	種別：	施設入所支援・生活介護
代表者氏名：	内山直樹	定員(利用人数)：	40 名
所在地：	〒 348-0034 埼玉県羽生市大字下川崎1414番地	TEL	048-563-1041

③評価実施期間

令和 7 年 7 月 31 日 (契約日) ~ 令和 8 年 3 月 13 日 (評価結果確定日)

④総評

◇特に評価の高い点

利用者の自己決定を尊重する支援を職員が連携して行っている。自己評価における「特に評価の高い点」においては、「利用者支援においては、意思決定支援に基づいた支援の取り組みがなされている」「障害特性や個性を尊重するため、日々話し合いや相談を行って支援している」「利用者様第一の対応を目指している」「利用者一人ひとりのニーズに合った支援を提供している」「利用者様の意思決定支援を徹底している。意思決定が困難な方に対しても、本人が望むであろう事柄を支援員皆で考え実行している」「利用者の自己決定を尊重した個別支援と取り組みを行っている」等の意見が一定数ある。利用者調査においても、「買いたいものは否定されません」「自分のことを考えて、職員がいろいろとアドバイスしてくれます。でも時々うるさいと思うこともあります（してくれなかったらさみしいけれど）」「髪をあまり切りたくないときには対応してくれます」「髪を切りたいときに切れます」「だいたい自分でできますが、できないところは手伝ってくれます」「トイレに間に合うように声をかけてくれます」「髪型を変えたいときは希望を聞いてくれます」等の意見が一定数ある。

◇特にコメントを要する点

事業計画（①「共愛会Credo」を活用した職員育成（支援力の向上を含む）を図る、②ICTとアナログを併用する形で組織力の向上（縦横の関係強化）を図る）を、「リーダー会議」や、「運営会議」、「職員会議」等において周知する取り組みを行っているが、自己評価における「事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。」については、「a」が21.1%にとどまっている（「b」は44.7%、「c」は34.2%）。このため、事業計画を職員に周知する更なる取り組みや、職員が事業計画を理解する更なる取り組み等に期待したい。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

当事業所が大切にしている「利用者の自己決定を尊重した支援」について高い評価をいただきました。職員が連携し、利用者一人ひとりの意思や希望を丁寧にくみ取り、障害特性や個性に応じた支援を行っている点が評価されました。また、利用者調査でも、買い物や身だしなみの希望が尊重されていること、必要な部分だけを手伝う支援が行われていることなど、日常の中での細やかな意思尊重が実感されているとの声が寄せられ、職員の取り組みが利用者の安心につながっていることを確認できました。

一方で、事業計画の周知や理解の浸透については課題が示されました。会議等で説明を行ってきたものの、職員の理解度には差が見られたため、今後は内容をより分かりやすく整理し、日常的な場面でも目的や意図を共有する機会を増やすなど、理解促進に向けた取り組みを強化してまいります。

今回の評価を励みに、強みはさらに伸ばし、改善点は着実に改善につなげ、より良い支援の提供に努めてまいります。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり